取扱説明書〈保証書付〉
裏表紙に付いています

HITACHI

日立家庭用 乾燥式 生ごみ処理機

ECO-A1形

〈屋内・屋外（軒下）設置型〉

このたびは日立家庭用 乾燥式 生ごみ処理機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保存してください。

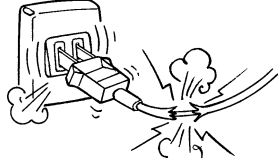
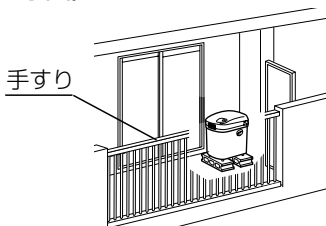
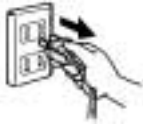
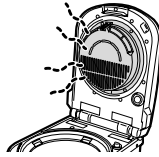
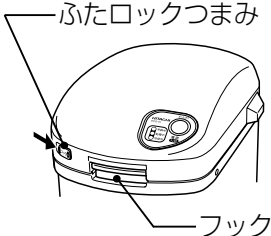
目　次

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

●この機器は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

⚠ 警告	
電気工事は、「電気設備に関する技術基準」および、この「取扱説明書」に従って行う。 （感電・火災・けがの原因） ●電気工事は、販売店または電気工事店に依頼してください。 	**本体据え付けの工事部品は、指定の部品を使用する。**（火災・感電の原因） 指定部品を使用しないと、火災・感電の原因になります。
アースを確実に取り付ける。 （故障や漏電の時の感電防止） ●アース工事は、販売店または電気工事店に依頼してください。 アース線接続	**分解は絶対にしない。また、サービスマン以外の人は、分解したり修理しない。** （火災・感電・けがの原因） 修理は、お買い上げの販売店または日立のお客様ご相談窓口にご相談ください。 分解禁止
子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない。 （やけど・感電・けがの原因） 	**スプレー缶及び缶類・電池類・石油類・花火・アルコール・酒類・アルコール分を含む食品（酒かす、アルコール漬けの果実）など引火・爆発するものは入れない。** （火災・引火・けがの恐れ）
差込プラグは根元まで確実に差し込む。 （感電・火災の原因） 	**ふたをあけたままで雨の中に置いたり、本体内部の水洗いはしない。** （感電・ショートの原因）
直接雨ざらしになる場所や、雨水がたまり、水浸しになるような場所に据え付けない。 （感電や漏電による火災の恐れ） 	**ふたや本体にひびが入ったり、破損した状態では使用しない。** （感電・ショートの原因）
本体に乗ったり、物をのせない。 （転倒してけがをしたり、ベランダでは転落する原因） 	**ぬれた手で差込プラグの抜き差しはしない。** （感電・やけどの原因） ぬれ手禁止

⚠ 警告

お手入れ・点検の際は、差込プラグを抜く。
（感電やけがの恐れ）

差込プラグを抜く

差込プラグの刃および刃の取り付け面のほこりをよくふく。
（火災の原因）

電源コード・差込プラグを傷つけない。
電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない。
（コードが破損し、火災・感電の原因）

傷んだ電源コードや差込プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない。
（感電・ショート・発火の原因）

定格15A（アンペア）以上・交流100V（ボルト）のコンセントを単独で使用する。
（他の器具と併用すると、分岐コンセント部の異常発熱による発火・感電の原因）

⚠ 注意

本体の据え付けは、壁から安全確認ができる距離を確保し、消防隊進入の障害にならない場所を選定する。
（事故の場合、避難できなかったり消火作業の障害になる恐れ）

安全確認ができないことがあります。万一の事故の場合、避難できなかったり消火作業の障害になる恐れがあります。

マンションなどベランダに本体を据え付ける際は、手すり側に据え付けしない。
（お子様などが踏み台にして転落する原因）

差込プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず差込プラグ部分を持って引き抜く。
（感電・ショート・発火の原因）

長期間使用しないときは、差込プラグをコンセントから抜く。
（感電・漏電の原因）

差込プラグを抜く

石油類やプロパンガス、スプレー缶などの引火しやすいものを本体に近づけない。
（火災の原因）

本体の上に物を置かない。
（過熱して変形の恐れ）

運転中、運転終了後しばらくは高温部分にふれない。
（高温によるやけどの原因）

接触禁止

本体上面および本体内部（処理容器さげ手、ヒーターカバー等）は高温になりますのでやけどの原因になります。

運転中はふたを開けない。
（やけどの恐れ）

※本体内部が高温状態のため、やけどの恐れがあります。

運転中は「ふたロックつまみ」をロック側にスライドさせる。

不用意に「フック」に触れた場合、ふたが開いて高温の湯気でやけどをすることがあります。

据え付け要領

●電気工事やアース（接地）工事はお買い上げの販売店または電気工事店に依頼してください。

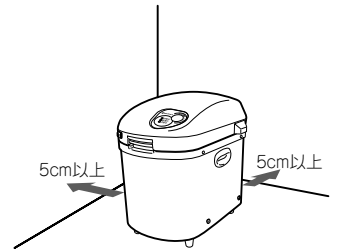
本体を屋外（軒下）・ベランダに据え付ける際、準備していただきたい工事部材

●コンクリートブロック（2枚）　●アース棒
●アース付き防雨形コンセント　●鎖または針金
ホームセンターなどでお買い求めください。

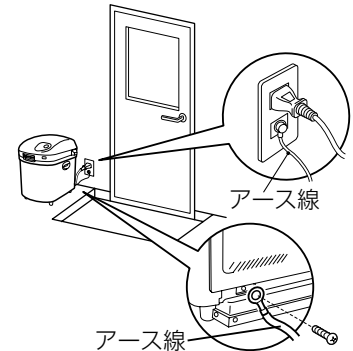
※ただし、据え付け条件によって不要なものもあります。

屋内の据え付けかた

1 本体据え付け場所の選定をする

●生ごみ処理中にいくらかにおいが出ますので勝手口近くや換気扇のあるところに据え付けてください。
●本体は、床面の強度のある場所に据え付けてください。
●本体の周囲に灯油などの可燃物のある場所は避けてください。
●本体は、壁などから必ず5cm以上離してください。
●周囲は、必ず上面、前面および左右どちらかの側面は開放してください。

上面、前面および左右どちらかの側面は開放

箱の中に入れたり、周囲を囲んだりしますと、過熱による故障の原因になります。

■据え付け例：勝手口付近

アース線
アース線

2 本体を据え付ける

●本体を水平に据え付けてください。

3 アースを確実に取り付ける

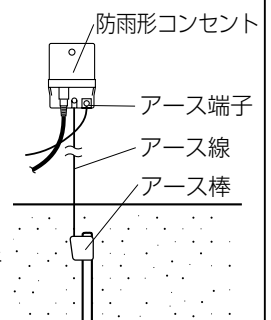
●本体後面のアース端子に、付属のアース線を接続します。
●電源コンセントのアース端子にアース線の先端の皮をむき、アース端子付コンセントのアース端子に確実に固定します。

据え付け終了後の運転確認

1. 差込プラグを差し込む
2. 「電源スイッチ」を押す
3. 「予熱中ランプ」の点灯と、かくはん羽根の回転音（約4秒間）を確認する
（ただし周囲の温度が低い場合は本体が暖まるまで回転しません。（☞12ページ）
4. 「電源スイッチ」を再度押して運転を停止する。
（ふたの内側のヒーターカバー部が熱くなっていますから注意してください。）

アース（接地）工事について

アース工事は、電気設備技術基準等に関する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事（接地抵抗100Ω（オーム）以下）を行ってください。
●漏電時に感電の恐れがあります。

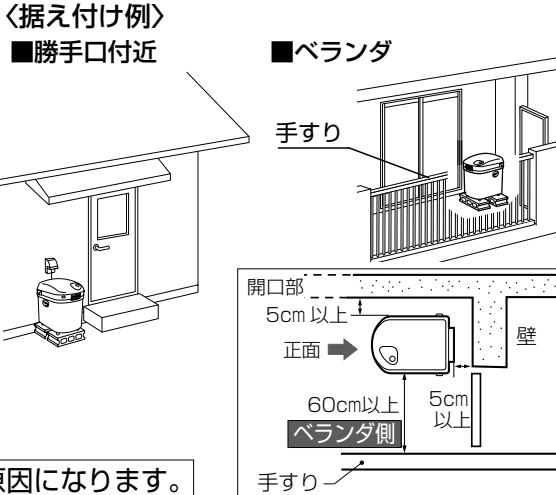
〈適する場所〉
アース棒は常に湿気のある所など適切な場所を選定して埋設してください。
〈不適切な場所〉
1）地下埋設場所（例：ガス管、水道管、地下ケーブル、引込管など）
2）避雷針や電話のアースから2m以内
3）ガス、酸などで腐食の恐れがある場所
4）人通りの激しい場所

屋外(軒下)・ベランダの据え付けかた

1 本体据え付け場所の選定をする

- 軒下、出窓の下、勝手口の近くなど、雨ざらしにならないところを選んで据え付けてください。
- 直射日光の当たる場所はさけてください。
- 潮風の当たる場所(地域)では、潮風防止の小屋などを設けてください。
- 周囲は、必ず上面、前面および左右どちらかの側面は開放してください。
- ベランダに据え付ける場合、本体を手すり側に据え付けないでください。
(お子様が踏み台などにして転落する原因になります。)
- 避難器具、避難ハッチや、消防隊進入の障害とならない場所に据え付けてください。
- 二方向避難路側のベランダには据え付けないでください。

⚠ 警告

直接雨ざらしになる場所や、雨水がたまり、水浸しになるような場所に据え付けない。
(感電や漏電による火災の恐れ)

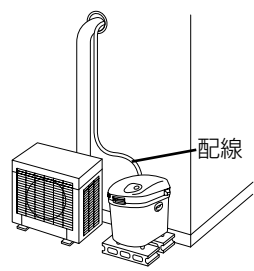
〈据え付け例〉

箱の中に入れたり、周囲を囲むと、過熱による故障の原因になります。

2 電源コンセントの取り付けと配線工事 (電気工事士の有資格者が行ってください。)

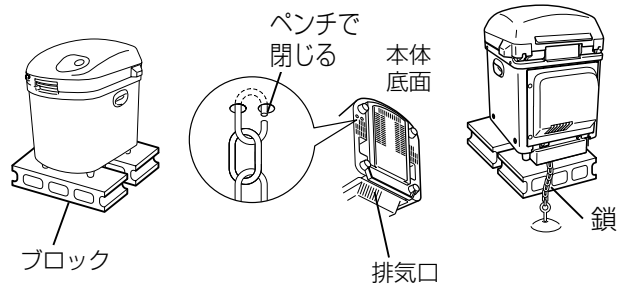
屋外に電源コンセントがない場合

1.アース付き防雨形コンセントを取り付ける
2.配線する

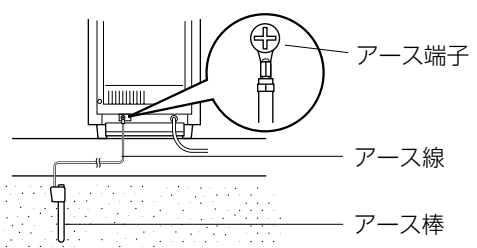
壁面に電源コンセントが取り付けできない場合は

- エアコン室外機などの配管穴に電源コードを通して屋内に配線する(屋内のコンセントに直接差し込んでください。やむを得ず延長コードご使用の場合は中間接続部に雨水などが入らないようにしてください)

3 本体を据え付ける

- 本体を水平に据え付けてください。

1.本体の据え付け場所にブロックを敷く
(雨天時における雨水のはね返り防止のため)
2.移動防止の「鎖」を取り付ける
(1) 本体底面の穴に鎖、針金などを通して(または鎖の先端を引っ掛ける)セメントで埋設したり、丈夫な壁などに固定してください。
(2) 鎖の引っ掛け部をペンチなどで閉じてください。

「鎖」を壁面へ取り付ける際は
- メタルラス張り・ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に電気的接触しないようにしてください。(「電気設備に関する技術基準182条」により義務づけられています。)

4 アースを確実に取り付ける

- 本体後面のアース端子にアース線を接続し、アース工事をしてください。

本体の据え付け終了後(☞4ページ)の運転確認を行ってください。

知っておいていただきたいこと

生ごみ投入時

処理できる生ごみとできないごみを必ず分別し、処理できる生ごみのみを投入してください。
（事故や故障の原因になります。）
（☞8・9ページ）

処理する生ごみにでんぷん類や果物、柑橘類（みかん・オレンジ・グレープフルーツ等）の皮だけを処理する場合は、他の生ごみと一緒に処理してください。
（未処理状態や処理中、においがする場合があります。）
（☞11ページ）

処理容器の生ごみ投入量目盛り線以上の詰め込みを避け、生ごみの水分を十分に切ってから投入してください。
（過度に詰めこみますと、ヒーターカバーなどが汚れたり、においの発生や故障の原因になります。）
（☞11ページ）

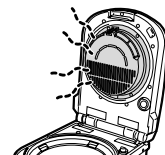
きな粉のような粉類やパン、クッキー、卵のから、かにやえびのから、ぬか床やみそなどの粘性物などを処理する場合は他の生ごみといっしょに処理してください。
(蒸気排気口の目づまり等、故障の原因になります。)
（☞11ページ）

少量のごみを処理する場合は他の生ごみと一緒に処理してください。
(自動終了せずに最長約12時間運転する場合があります。)

生ごみ処理時・処理後

処理容器の中で生ごみが腐敗しないように早めに処理してください。
（腐敗が進んで悪臭がする場合があります。）
（☞12ページ）

腐敗したごみは投入しないでください。
（においの発生や故障の原因になります。）

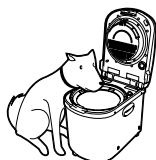
処理中や冷却中ランプ消灯直後は、ふたを開けないでください。
（内部が高温のため、やけどをする恐れがあります。）
（☞12ページ）

乾燥処理物は、特有のにおいが残ります。できるだけ冷やしてから、ふたを開けてください。

生ごみの処理中は、かくはん羽根が間欠回転するため間欠音がします。（故障ではありません。）

長く快適にお使いいただくために、本体内部にごみが付着したときは、お手入れをしてください。また、処理容器を洗う場合には、洗剤を使わないでください。こびりつきやすくなります。
（☞14・15ページ）

ご使用の前に常に確認してください

排気口が物でふさがれていませんか？
故障の原因になります。また植物は排気口の近くに置くと、熱で枯れることがありますので置かないでください。

脚（4カ所）は水平に据え付けられていますか？
振動音がすることがあります。
ガタつきがある場合は、薄い板などをはさんでガタつきをなくしてください。

ふたは常時閉めてありますか？
ふたが開いたままになっていると、雨が本体内部にかかったり強い風でふたが急激に閉まるなど故障、感電やけがの恐れがあります。また小動物(犬、猫など)が入って事故になる恐れもあります。**必要時以外は、必ずふたを閉めてください。**

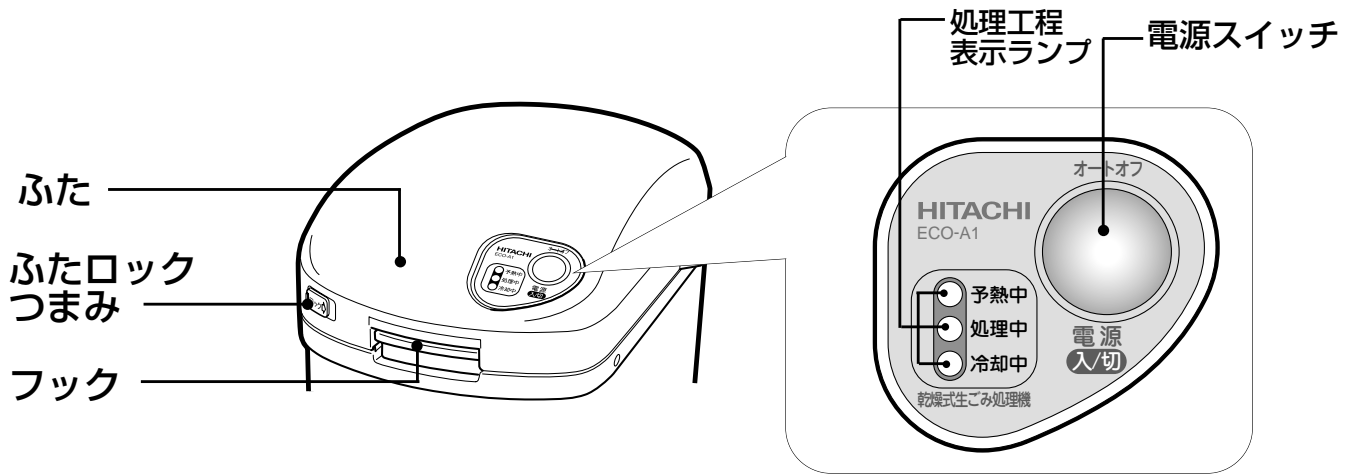
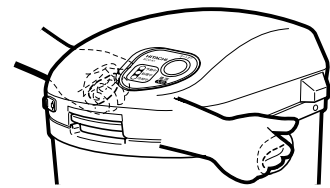
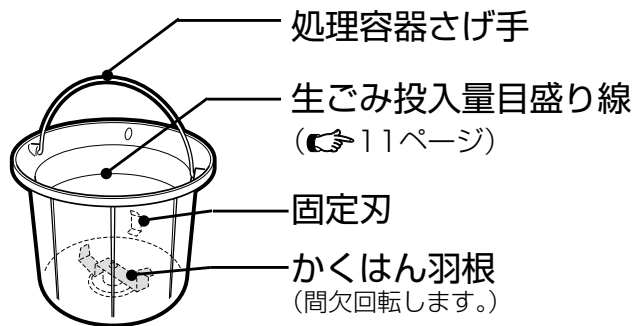
各部のなまえ

■処理容器

※乾燥室にセットしておきます。

処理容器さげ手

生ごみ投入量目盛り線
(☞11ページ)

固定刃

かくはん羽根
(間欠回転します。)

※移動時には、本体側面の取っ手に手を入れ、持ち運んでください。

フック

ロックバネ
(☞15ページ)

ヒーターカバー
(☞14・15ページ)

ふたパッキン
(☞14ページ)

蒸気排出口
(☞14ページ)

固定金具
(☞15ページ)

差込プラグ

電源コード

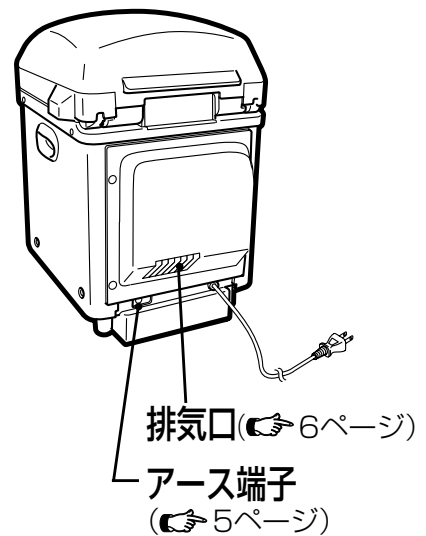
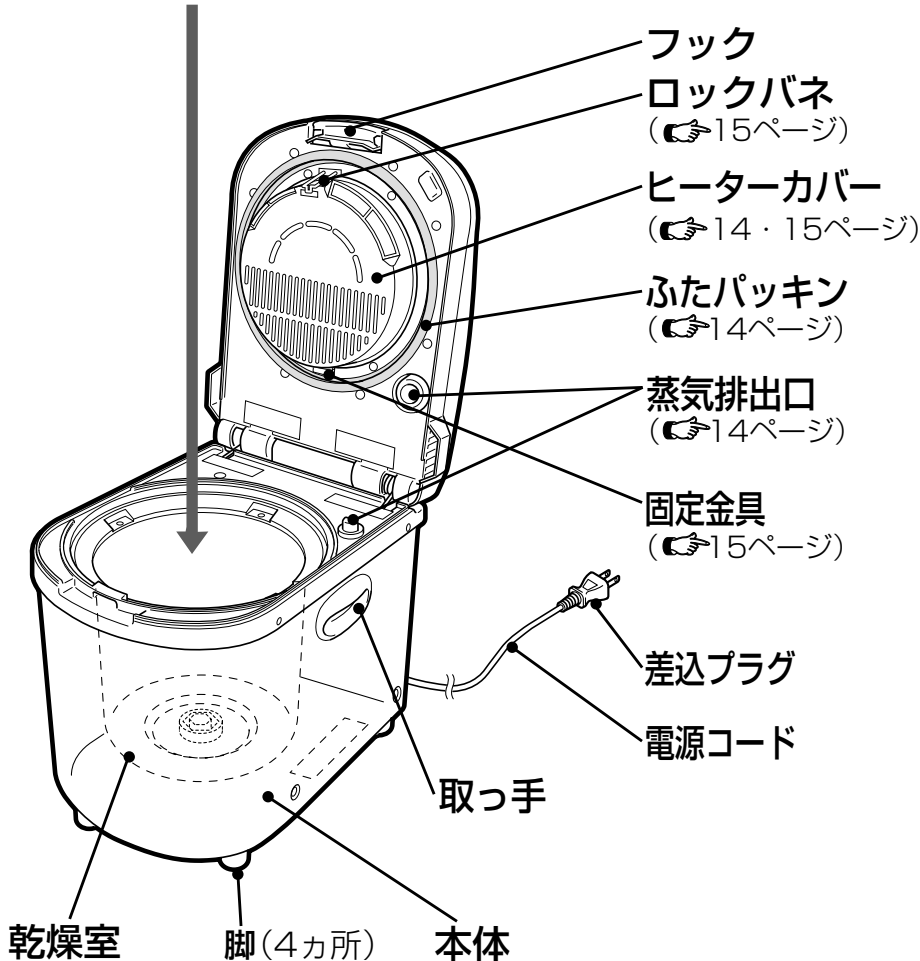
取っ手

乾燥室

脚(4ヵ所)

本体

排気口(☞6ページ)

アース端子
(☞5ページ)

■アース線

投入できる生ごみ・投入できないもの

生ごみを区別します

家庭から出る生ごみならほとんどのものが処理できますが、調理時に出た下記の投入できないごみなどが混入しますと故障や事故の原因となります。ふだんから気をつけて区別しておいてください。

●処理できるものは家庭で発生する生ごみだけです。

投入できる生ごみ

一般的に人が食べられる食材・調理物

ご飯・めん類

野菜くず

果物くず

茶がら

肉類・魚類

その他の残りもの

投入できないもの

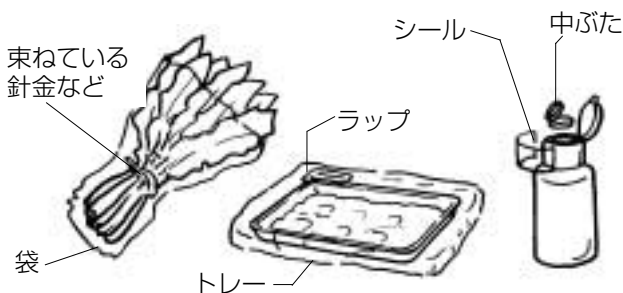
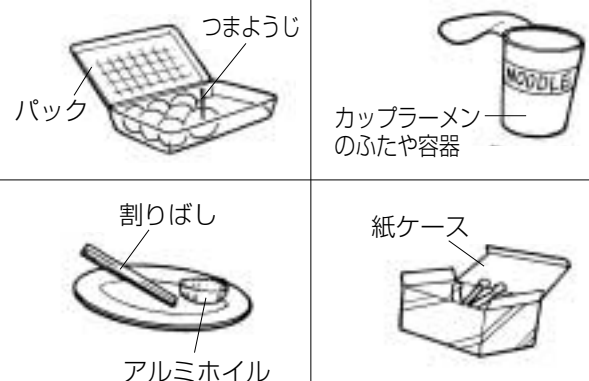
※次のものは、生ごみにまぎれ込みがちです。投入しないでください。

生ごみとともに捨ててしまいがちなもの(故障の原因になります)

調理時

束ねている針金など
袋
ラップ
トレー
シール
中ぶた

食事後

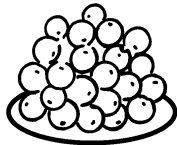
パック
つまようじ
カップラーメンのふたや容器
割りばし
アルミホイル
紙ケース

投入できないもの

爆発・引火の恐れがあるもの

※絶対に投入しないでください。

石油類

アルコールおよびアルコール分を含む食品（酒かすなど）

酒類（果実酒・薬用酒など）

アルコール(焼酎・ホワイトリカーなど)漬けをした果実(うめ、ざくろ)・薬草などの薬材料

その他 [●缶類（スプレー缶など）●花火　●電池類]

⚠警告	火災・引火の恐れあり （酒類・アルコールを含む食品など引火・爆発するものは入れない）

故障の原因になるもの

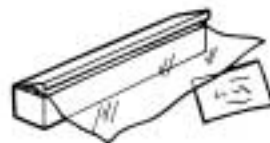
牛・豚・鶏などの骨

ガラス･陶磁器･金属類

スチロールトレー

輪ゴム

動物のふん、硬い貝殻や多量のアサリ・しじみなど

木竹製品

ポリ袋・ラップなどのシート類

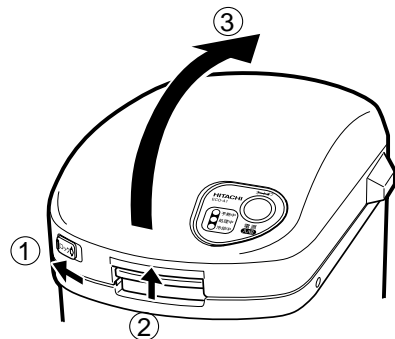
紙類

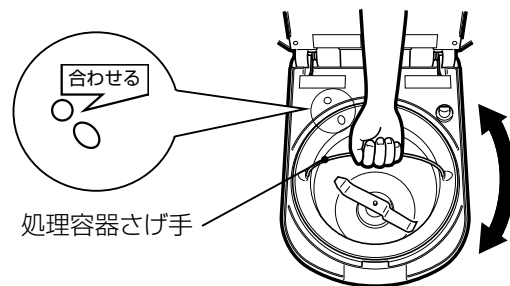
生ごみの入れかた

1 生ごみの下処理をする

●処理時間の短縮や良好な処理をするための準備をします。
※水分は十分に切ります。
※ネギなどの細長い繊維質の多い野菜は5cm以下にカットします。
（かくはん羽根の巻き付き防止のため）

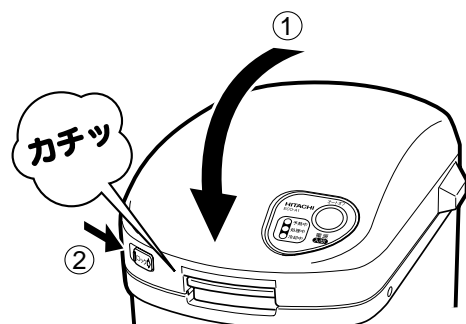
2 ふたを開ける

①「ふたロックつまみ」を矢印方向に解除する。
②「フック」を引き上げる。
③手を添えながら、ふたを最後まで開ける。
※ふたは垂直になるまで開けてください。
※ふたを途中で止めておくと、ふたが自重で急に閉じることがあります。
※強い風のときはふたが急激に閉まることがありますのでご注意ください。
※処理後続けて使用する場合は、本体内部が高温になっているのでやけどに注意してください。
※生ごみを投入するとき、「生ごみ投入量目盛り線」を越える場合は処理容器内のごみを取り出してください。（☞13ページ）
※ヒーターカバーにごみが付着しているときは必ず取りのぞいてください。（☞14ページ）

3 処理容器のセットを確認する

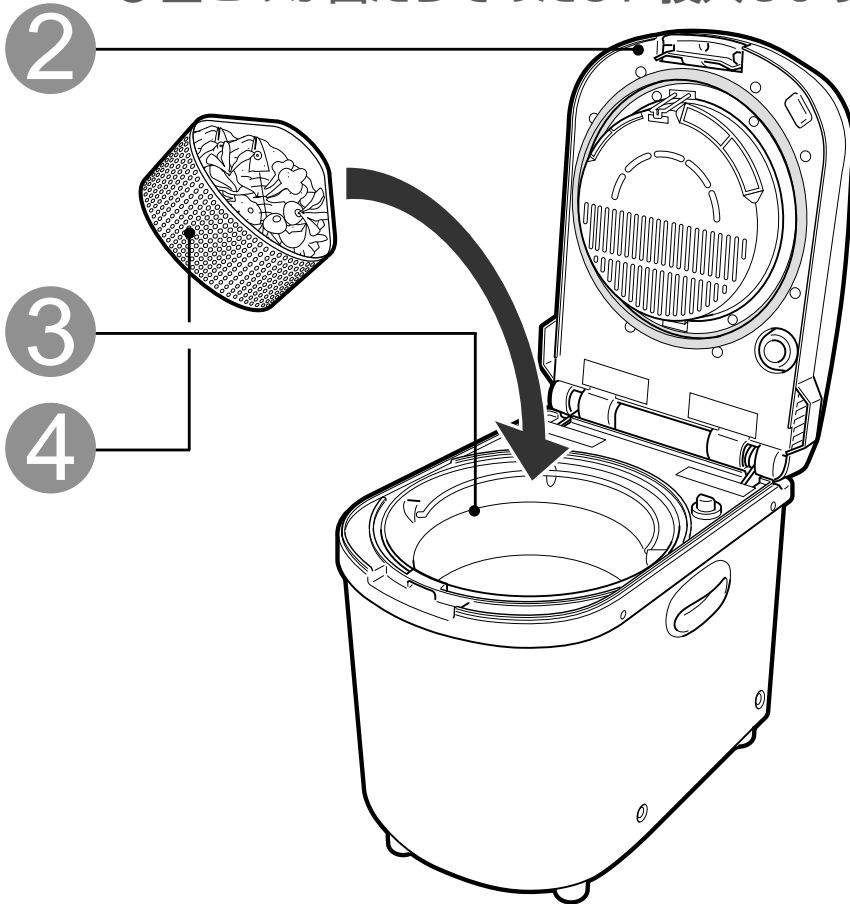
処理容器がセットされていないときは、セットします。
①処理容器を回しながら、処理容器の ◯ 印と本体の◯印を合わせてセットします。
※処理容器をセットしないで生ごみを直接入れると故障の原因になります。
②処理容器のさげ手を倒す。

4 生ごみを入れる（☞8ページ）

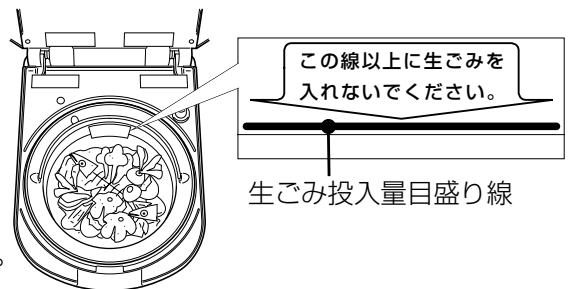
●水切りした生ごみを処理容器に入れる。
※「生ごみ投入量目盛り線」以上に生ごみを入れないでください。（☞11ページ）
生ごみを押し込んで「生ごみ投入量目盛り線」以下にしないでください。

5 ふたを閉める

①「カチッ」と音がするまで閉める。
②「ふたロックつまみ」を矢印方向に押し、ロックする。
※処理容器やヒーターカバーが確実にセットされていないと、ふたが閉まりません。
※ふたロックつまみをロック側にした状態でふたを閉めないでください。（故障の原因になります。）

⚠注意
乾燥処理後続けて使用する場合は、本体内部の高温部に触れない。
（やけどの恐れ）

お願い
●ふたは強く閉めないでください

● 生ごみが出たらそのたびに投入します。

生ごみの投入量は必ずお守りください

●処理容器内の「生ごみ投入量目盛り線」以上に入れないでください。
●連続して処理するときも「生ごみ投入量目盛り線」以上に入れないでください。
●粉類、水分を多く含んでいるみそやぬか床などのような粘性物や固形物を他の生ごみといっしょに処理する場合は、「生ごみ投入量目盛り線」まで入れないでください。処理容器の約半分で処理してください。

※生ごみを押し込んで「生ごみ投入量目盛り線」以下にしないでください。無理に押し込むと、ヒーターカバーの穴がつまり乾燥不足になることがあります。また、においの発生や故障の原因になります。

同じ種類の生ごみを続けて処理する場合

処理不足の状態になったり、処理中においがする場合がありますが故障ではありません。

野菜・果物などの水分量が多い

サラサラの乾燥状態にならない

魚・天ぷら等（油分が多いもの）が多い

乾燥しない油分が残り液状になる

麺類・ご飯類（澱粉類）が多い

ダンゴ状に固まるまたはこびりつく

みかんの皮・キャベツの芯等

細かくならないにおいがする

その上から家庭の生ごみ（いろいろな種類の混ざった生ごみ）を継続して追加・処理すると、乾燥状態も粉砕度も除々に良くなります。

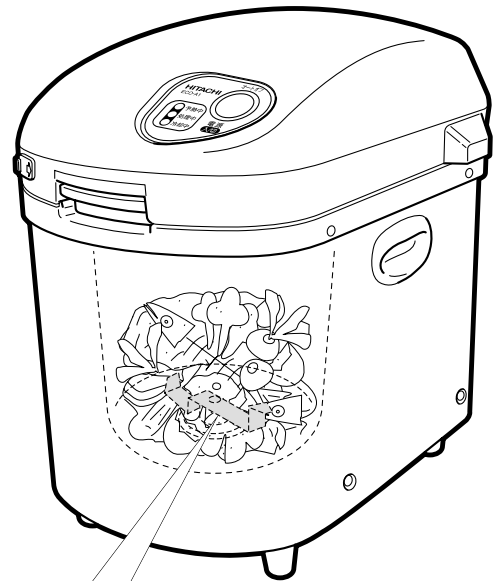
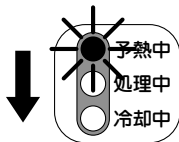
生ごみの処理

●1日1回が目安です。

電源スイッチを押す

■予熱中ランプが点灯します。
※処理を途中で停止させるとき、再度押します。

生ごみの処理中

■処理工程ごとに 予熱中➡処理中 ➡冷却中
とランプが点灯します。その後自動的に電源が切れて処理工程ランプが消灯します。

かくはん羽根は、
電源スイッチを押すと予熱中ランプが点灯し、最初に約4秒間回転して止まります。ただし周囲の温度が低い場合は、本体が暖まるまで回転しません。(ごみが凍結してモーターがロックされたまま運転されるのを防ぐためです。)
その後処理中、冷却中は間欠運転します。

生ごみの量と処理時間の目安

●処理時間の目安は、生ごみ(標準試験ごみ)の量が約700gのとき約2時間、約1.5kgのとき約4.5時間です。なお、生ごみの種類･量･水分量･温度、使用される周囲温度･電源電圧等の環境によって処理時間が約2倍程度かかることがあります。ただし、特に水分量が多い生ごみの場合には、乾燥が不十分でも最長約12時間で停止するようになっています。
(この時は、予熱中、処理中のランプが点滅します。)

生ごみ処理中のお願い

●運転中はふたを開けないでください。(内部が高温のためやけどの恐れがあります。)また、ふたを開けると自動的に電源スイッチが切れて運転が最初からやりなおしになり、乾燥時間が長くなります。
●再度処理スタートする場合は、ふたを閉めて電源スイッチを押してください。
●室内使用時、乾燥のために発生する湿気・熱気・においが気になる場合は、換気をしながらお使いください。

上手な使いかた

●生ごみはよく水切りして処理すると、処理時間が短縮できます。

●毎食後の残飯･残菜(少量の生ごみ)を、その都度処理するよりも、一日分を夜にまとめて処理するほうが時間短縮に効果的です。

●冷却工程に入ると冷却中ランプが点灯します。
約700gの生ごみ(標準試験生ごみ)の場合は、約2時間で乾燥が終りますが、最後の15分間は冷却処理します。冷却時間に入ると冷却中ランプが点灯します。就寝前･お出かけ前など、気になるかたは、冷却中に入っていれば電源を切っていただいてもかまいません。このとき冷却中ランプが点灯中に電源を切り、強制的に処理を終わらせることができますが、約1時間ふたを開けないでください。(内部が高温のためやけどの恐れがあります。)

処理したごみ（乾燥処理物）の取り出し

●週１回が目安です。（1日に標準生ごみ約700ｇを処理した場合）

※週1回が目安ですが処理容器の約半分位までたまったらごみを取り出してください。 処理したごみが処理容器の半分以上になるとヒーターカバー内にごみがつまり、振動音やにおいの原因となることがあります。

※生ごみを追加投入するとき、「生ごみ投入量目盛り線」を超える場合は、追加投入前に処理したごみを取り出してください。

1 処理工程ランプの消灯を確認してから ふたを開ける

●ふたは静かに開けてください。（付着した乾燥処理物が飛び散ることがあります。）

※ヒーターカバーにごみが付着している場合は、必ずごみを取りのぞいてください。（☞14ページ）

2 処理容器を取り出す

●運転終了直後は、処理容器さげ手が熱くなっています。冷えてから取り出してください。

3 ごみを捨てる

●乾燥処理物の温度が冷えてから捨ててください。

●一般可燃ごみと一緒に捨てられます。また、園芸などの乾燥・有機肥料素材として再利用できます。
（☞17ページ）

●処理容器を落としたり、たたいたり、衝撃を加えたりしないでください。
（破損の原因となります。）

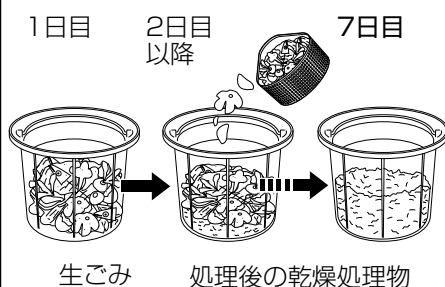
4 再び処理容器をセットする
（☞10ページ）

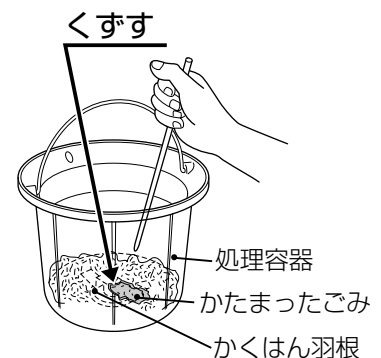
●処理容器さげ手を倒してふたを閉めてください。（処理容器さげ手が変形することがあります。）

⚠注意

本体内部の処理容器などが冷えてからごみを取り出します。
（やけどの恐れ）

上手な使いかた(ごみ出し回数を減らすために)

乾燥処理物の上に追加投入し、続けて処理できます

●1日約700gの生ごみの量であれば、約7日間ごみを捨てなくても連続して処理できます。
（標準試験生ごみ約700gの場合）

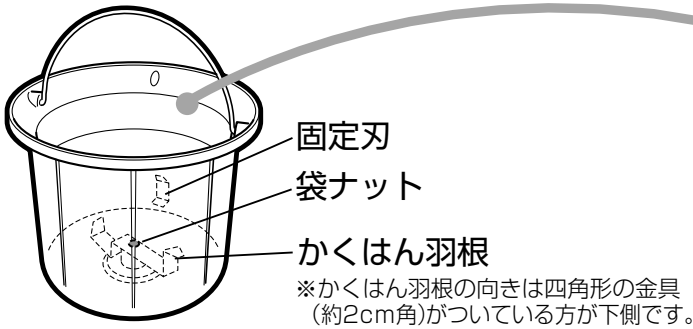
●乾燥処理物がかくはん羽根の周囲にかたまった場合は、くずしてから、その上に生ごみを投入して処理します。

各部のお手入れ

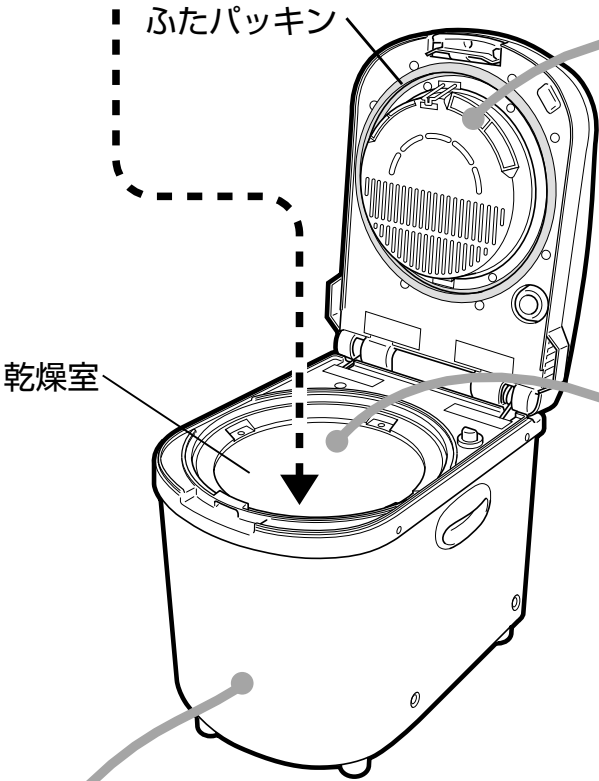
乾燥処理物を捨てたあとお手入れをしてください。（週1回が目安です。）

生ごみを入れるときはヒーターカバーやふたパッキンにごみが付着していないか調べて必ず取りのぞいてください。乾燥処理物が処理容器およびかくはん羽根に付着していても運転には支障ありません。そのままご使用ください。ふたパッキンと処理容器の接触する面のごみは必ず取りのぞいてください。ごみが付着しているとにおいもれの原因になります。

⚠警告	お手入れの際は差込プラグを抜く（感電ややけどの恐れ）

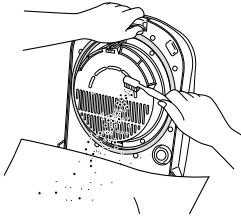
⚠注意	お手入れは本体上面および本体内部の処理容器等が冷めてから行う（やけどの恐れ）

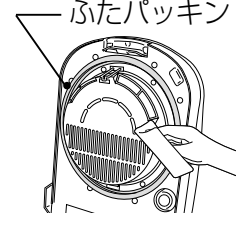
固定刃
袋ナット
かくはん羽根
※かくはん羽根の向きは四角形の金具（約2cm角）がついている方が下側です。
ふたパッキン
乾燥室

処理容器

- 処理容器を湯または水に浸した後、スポンジで洗ってください。こびりつきやすくなりますので、洗剤は使用しないでください。
- かくはん羽根を掃除するときは、ペンチ等で袋ナットをゆるめ真上に取り外しますと簡単にはずれます。ふたたび取り付けるときは袋ナットをしっかり締めてください。

ヒーターカバー

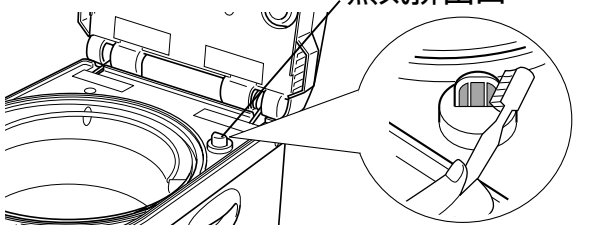
- 歯ブラシなどでごみや汚れを取り除いてください。
- ごみがヒーターカバー内に付着しているときは、ヒーターカバー内をお手入れしてください。（☞15ページ）

お願い

- 歯ブラシなどで取り除く際、乾燥室上面にごみが落ちないように、新聞紙などでごみ受けをしてください。

本体内部

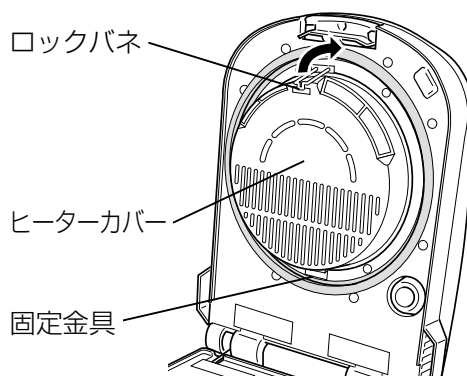
- 濡らして軽くしぼった布などで清掃してください。また、ふたパッキン部に付着したごみは取り除いてください。（パッキンの変形やにおい発生の原因になります。）
- 水をかけたり、水洗いしないでください。（故障の原因になります。）
- 蒸気排出口に付着したごみはお手持ちの歯ブラシなどでかき落としてください。
- ごみが蒸気排出口の中に入らないように注意してください。

外　側

- 本体や操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた台所用中性洗剤に浸した布をかたくしぼってふき取ってください。

（お手入れには、シンナーやベンジン、みがき粉などは使用しないでください。）

ヒーターカバー内のお手入れ

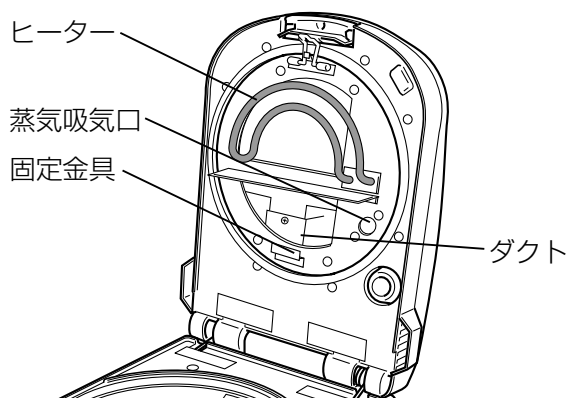
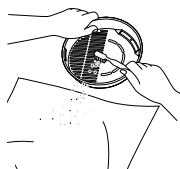
処理する生ごみによっては、ヒーターカバー内部にごみが付着することもあります。
長く快適にお使いいただくために、点検・お手入れをしてください。

1 ヒーターカバーを取り外す

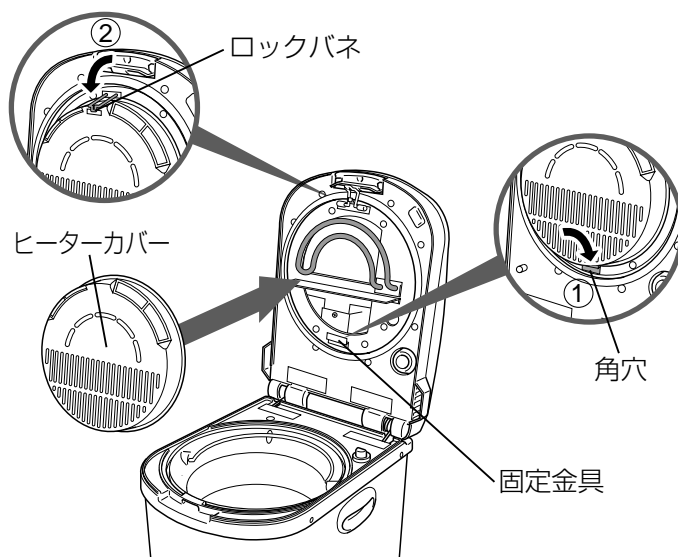
- ヒーターカバー上部の「ロックバネ」を指で上に押し上げながら、固定金具からヒーターカバーをはずしてください。

2 お手入れをする

- ヒーターカバー内側に付着したごみや、ヒーターカバー内（特に蒸気吸気口）のごみをお手持ちの歯ブラシなどでかき落としてください。
- ダクトに付着したごみも同様に歯ブラシなどでかきおとしてください。

（金属などの固いものは傷がつく恐れがありますので使用しないでください。）

- お手入れの際、ヒーターなどに力を加えないでください。（故障の原因になります。）

3 ヒーターカバーを取り付ける

①ヒーターカバーの「角穴」に「固定金具」を引っかけてください。
②ヒーターカバーに「ロックバネ」をかけてください。

故障かな ・・・・・ と思ったら

次のことをお調べください

こんなときは	調べるところ	直しかた
電源スイッチを押しても作動しない	●差込プラグがコンセントから抜けていませんか。 ●ふたが確実に閉まっていますか。	●差込プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ●「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。（☞10ページ）
処理時間が長くかかる	●処理工程表示ランプの点灯中に、ふたを開けませんでしたか。 ●水分量の多い生ごみ類を多く入れていませんか。 ●生ごみが多量に入っていたり、詰めすぎたりしていませんか。 ●ヒーターカバー内に乾燥処理物の細片が入って、ヒーターカバーの穴がつまっていませんか。 ●少量の生ごみを処理していませんか。	●運転中はふたを開けないでください。ふたを開けると電源スイッチが自動的に切れます。再度ふたを閉め、電源スイッチを押すと、運転が最初からスタートします。 ●水分の多い場合は、乾燥に時間がかかります。そのまま処理を続けてください。 ●処理容器の「生ごみ投入量目盛り線」までに減らしてから、再度処理を行ってください。（☞11ページ） ●ヒーターカバーをお手入れしてください。（☞15ページ） ●他の生ごみと一緒に処理してください。少量の生ごみをその都度処理するよりも、一日分をまとめて処理するほうが時間短縮に効果的です。（☞12ページ）
十分に乾燥されていない	●排気口をふさいでいませんか。 ●蒸気排出口が目づまりしていませんか。 ●ごみの種類がかたよっていませんか。（でんぷん類・果物類など） ●ヒーターカバー表面に生ごみや異物が多量に付着していたり、穴がつまっていませんか。 ●多量のごみを処理していませんか。	●障害物を取り除いてください。（☞ 6ページ） ●ごみを取り除いてください。（☞ 14ページ） ●乾燥不足になる場合がありますが、その上に続けて生ごみを投入して処理してください。 ●ごみを取り除いてください。（☞14・15ページ） ●ごみの量が多いとヒーターの過熱を防止するため処理が早く終了することがあります。そのまま処理を続けてください。
スタート後すぐにかくはん羽根が回転しない	●周囲温度が低いところで使用していませんか。	●周囲温度が低いときはすぐには回転しません。本体が暖まってから回転します。
運転中にランプが点滅してしまう ○予熱中 ○処理中 ☀冷却中	●処理容器を入れないで電源スイッチを入れませんでしたか。	●処理容器を入れて運転してください。
運転中にランプが点滅してしまう ○予熱中 ☀処理中 ○冷却中	●製品の周囲温度が高くなっています。屋外使用時直射日光のあたる場所に据え付けていませんか。	●直射日光のあたらない場所に移してください。
運転中にランプが点滅してしまう ☀予熱中 ☀処理中 ○冷却中	●水分量の多い生ごみを入れたため約12時間後に処理停止しました。 ●少量のごみを処理していませんか	●再度スイッチを入れるか、水分量の多い生ごみを取り除いてください。 ●他の生ごみと一緒に処理してください。（☞ 6ページ）

こんなときは	調べるところ	直しかた
ラジオ、コードレス電話などに雑音が入る	●ラジオまたはコードレス電話を本体の近くに置いていませんか。	●ラジオまたはコードレス電話を本体から50cm以上離すか、向きを変えてください。
運転中大きな音がする	●硬い貝殻や骨が入っていませんか。 ●ヒーターカバーの内部に乾燥処理物が固まって残っていませんか。	●硬いものを取り除いてください。 ●お手入れの方法に従いヒーターカバーの内部のごみを取り除いてください。どうしても取り除けない場合は、お客様ご相談窓口（☞19ページ)にご相談ください。
処理中に強いにおいがする	●蒸気排出口が目づまりしていませんか。 ●ふたパッキン部および、処理容器上面にごみが付着していませんか。 ●ごみの種類がかたよっていませんか。 ●処理容器内に処理したごみが一杯になっていませんか ●古くなったごみを処理していませんか。	●ごみを取り除いてください。（☞14ページ） ●ごみを取り除き､清掃してください｡(☞14ページ） ●他の生ごみと一緒に処理してください。（☞6・11ページ） ●処理したごみを取り出してから処理してください。（☞13ページ） ●生ごみは腐敗しないよう早めに処理してください。

乾燥処理物の活用

完熟堆肥にして園芸に活用する方法

① ポリ袋（米袋など）を用意し、下側に穴をあけます。（20ヶ所程度）

② その中に乾燥処理物と腐葉土を入れ、よく混ぜます。

体積の割合

乾燥処理物	腐葉土
8L	10L

（例）4人家族の１ヶ月分（約8L）を堆肥にした場合

③ その上から湿らす程度に、じょうろで散水します。

④ 袋を締め、月日を記入し、日陰で保管します。

（堆肥が完熟になる目安は、夏場で約1ヶ月　冬場で約3ヶ月）

●完熟堆肥は直接、植物の根に触れないように埋めてください。

仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50-60Hz
定格消費電力	740W
電源コード	約2.0m
最大処理量	約1.5kg/回
外形寸法	幅30cm×奥行42cm×高さ43cm（ふたを開けたときの高さ68cm）
質量	約11kg
付属品	アース線(1本)

●長時間ご使用にならないときは、差込プラグをコンセントから抜いてください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● 保証期間は、お買い上げの日から1年です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または、お近くの日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表(19ページ)の窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは 出張修理

16・17ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず差込プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

■連絡していただきたい内容

品名	日立家庭用乾燥式生ごみ処理機
形名	ECO－A1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	(できるだけ具体的に)
ご住所	(付近の目印等も併せてお知らせください)
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

※銘板は本体左側面にあります。

■保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社は、この乾燥式生ごみ処理機の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

● ご転居されたり、移動したりした場合には、必ず販売店または電気工事店に依頼して、アースの取り付け直し(有料)を行ってからご使用ください。(4ページ参照)

修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

日立家電品のお客様ご相談窓口一覧表

（家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示）

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は	商品情報やお取り扱いについてのご相談は
TEL 0120－3121－68 FAX 0120－3121－87	TEL 0120－3121－11 FAX 0120－3121－34

一般ご相談窓口 家電品についてのご意見やご要望は各地区の**お客様相談センター**へ

担当地域	電話番号	所　在　地
北海道地区	011－833－5088	札幌市白石区東札幌２条４－１－１０
東北地区	022－232－5088	仙台市宮城野区扇町１－１－４５
関東・甲信越地区	03－3834－8588	台東区東上野２－７－５（日立家電上野ビル）
中部地区	052－795－5088	名古屋市守山区川宮町５５（日立家電守山ビル）
関西地区	078－431－5088	神戸市東灘区甲南町１－３－８
中国地区	082－231－5088	広島市西区観音新町１－７－１７
四国地区	0877－47－1088	坂出市林田町４２８５－１４３
九州・沖縄地区	092－281－5088	福岡市博多区店屋町７－１８（博多渡辺ビル）

●ご相談窓口の名称、所在地等は変更になることがありますのでご了承ください。　－02A－

愛情点検

● 長年ご使用の家庭用 乾燥式 生ごみ処理機の点検を！

● 家庭用 乾燥式 生ごみ処理機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。

ご使用の際このようなことはありませんか	●電源コードや差込プラグが異常に熱くなる。 ●電源スイッチを押しても動作しない。 ●自動的に切れないときがある。 ●運転中に異常な音が出る。 ●さわるとビリビリと電気を感じることがある。 ●その他ふたの破損などの異常や故障がある。	▶	お願い	故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。 点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

株式会社 日立ホームテック　日立ホーム&ライフソリューション株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2丁目15番12号　電話(03)3502-2111

日立家庭用 乾燥式 生ごみ処理機保証書 出張修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼の上、本書をご提示ください。

製造番号

形名	ECO-A1	※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
		平成　年　月　日	本 体：１年
※お客様	ご住所	〒	
	ご芳名	様	
※販売店	住所		
	店名	電話	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1.保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ)お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
(ニ)車両、船舶にとう載して使用された場合に生じた故障または損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2.離島または離島に準じる遠隔地への修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3.ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4.贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には取扱説明書の19ページの日立家電品ご相談窓口一覧表をご覧のうえ、お近くの窓口にご相談ください。
5.本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6.本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書の19ページの日立家電品ご相談窓口一覧表の窓口にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

日立ホーム&ライフソリューション株式会社
〒105−8410　東京都港区西新橋２−15−12　電話（03）3502−2111

NH213401－05　2000-07（DC・M）2